

黎明だより



2月定例会にて

- ・ 県民の安全安心について
- ・ DMATについて
- ・ サテライトオフィスについて
- ・ 人材の育成について

新型コロナウイルス感染が世界的に問題となり、学校も一斉休業となりました。感染をこれ以上広げないために、色々意見はあるでしょうが、国民皆で協力して乗り切りましょう。

令和2年2月定例会が、2月25日～3月23日まで開催され、3月13日に予算委員会に登壇しました。

また、議会中に能登地域を震源とした大きな地震がありました。幸い大きな被害はなかったようですが、いつ発生するか判らない災害への備えは必要なものだと再認識しました。

今回は、新型コロナウイルスの影響で、県議会全体で、議会傍聴の呼びかけ自粛の申し合わせがあり、事前にお知らせしませんでした。今回は、来年度予算の事業を中心に、次の項目について、質問しました。



県道七尾羽咋線の鹿島路町周辺

【県民の安全安心について】

ちようど質問日の未明に、能登地方を中心に大きな地震がありました。改めて、災害はいつ起こるか分からないので、日頃からの備えが大切だと思いました。

最近、多くなってきた大雨等による土砂の流入への対応で、県では川や砂防堰堤に溜まった土砂を除去する工事を行っています。中能登地区での工事状況について聞きました。また、一昨年に起きた中能登地区での大雨の復旧工事の進捗状況も確認しました。

また、県道七尾羽咋線の鹿島路やガードロープなど設置する。また、金丸区間で12月に、車が道路を外れ傾いて止まったことで電車の運行に支障が出るという事故が起きました。何度も同じような事故が起きていることを踏まえて、この区間の安全対策をすべきと訴えました。

【〇質問と●答弁の要旨】

〇中能登地区での河川の溜まった土砂除去の状況と来年度の予定は？

●今年度は、飯山川や長者川など優先度の高い21の河川で土砂除去を行っており、既に19の河川で事業が終わった。来年度は酒井川や相見川など9の河川で事業を始める予定。

〇（事故もあつたので）県道七尾羽咋線のJR七尾線と並行している区間で安全対策をすべきでは？

●その区間で防護柵（ガードレール）やガードロープなど設置する。

（ひとこと）

「住民の安全安心」には、自然災害の運行に支障が出るという事故が起きました。何度も同じような事故が起きていることを踏まえて、この区間の安全対策をすべきと訴えました。



河川の土砂除去工事の様子（県土木部資料）

【サテライトオフィスについて】

都市部のIT企業などを中心に、本拠地の会社から離れた、地方の市町村に「サテライトオフィス」を設けて、パソコンなどで拠点とやり取りしている事例が少しずつ増えており、国でも推進しています。

そんな中で、県は宝達志水町以北の能登地域等を対象地域に、サテライトオフィス誘致の助成制度をつくりました。そこで、サテライトオフィス誘致について、県の姿勢を聞きました。

〇現在、サテライトオフィス誘致を行っている石川県内の市町はいくつある？

●輪島市1つだけ

〇県内市町と連携して誘致促進をしていくべきだが、今後の取組方針は？

●県内市町には、県の制度と同等以上の金額の補助制度を作ってもらうことにしており、県と市町が連携して誘致に取り組んでいく。

〇サテライトオフィスを誘致するのと地域はどう変わる？

●移住希望者の増加や空き家対策、地域コミュニティとの交流などが期待でき、地域活性化につながる。

（ひとこと）

新しい働き方や会社のあり方の一環として、国も推進しているサテライトオフィスですが、誘致することで地域が元気になるのであれば、通常の企業誘致と併せて、能登地域で誘致に力を入れていけばいいのではないのでしょうか。

【人材の確保について】

（インターンシップ）

県では、若者が石川県に戻ってきて就職したり、移住して就職する社会人向けに県内企業の職場体験（インターンシップ）をする取組を全国初で始めます。また、県内の女性や高齢者の再就職をサポートするためにもインターンシップ制度を活用することです。

こういった制度の内容について、何点か提案を行いました。

〇社会人向けのインターンシップに、石川県の産業を代表するような企業に参加してもらえばいいのでは？

●県内の幅広い企業に参加してもらう予定。

〇職場の人間関係がうまくいかず離職する人も多いため、女性や高齢者向けのインターンシップを再就職先での人間関係を考慮したプログラムにすれば？

●受け入れ先の社員と触れ合えるようなことも考慮する。

〇既に行っている取組を含めると、高校生・大学生・社会人・女性や高齢者と、幅広い方にインターンシップの取組を県として展開することになるが、このことが石川県内の就職や就業後の定着に期待する効果は？

●県としては、UIターン希望者のさらなる県内就業促進等を目的に、企業と就業希望者が直接触れ合えるインターンシップに着目した。期待している。

人材の確保について

(A I関係の人材)

最近、人工知能A Iを様々なことに活用しようという動きがあつて、石川県内のモノづくりの現場でもA Iを活用してモノの品質を管理するなど取り組みが始まっています。そこで、県はA Iなどの先進技術を現場で支える人材の育成をサポートする新しい事業を始めることにしました。

また、A Iなどを県庁や市役所などででの仕事に活かす「スマート自治体」の取組もこれから始まります。官民間問わずA I関係の人材が必要になってくる中で、こういった人材が、これから行政と民間で取り合ひになるのではないかと私は考えていて、どうやって行政側でA I関係の人材を確保していくのか考えていくべきでないかと提案しました。

○県内企業でのA I等の人材ニーズはどうなつていく見込み？

●これから大きくなっていくと思われる。

○県や市町でのスマート自治体の取組を支える行政の人材育成事業を行えばどう？

●県は人材登用や研修で、市町に対しては研修講師の派遣といった形で対応していきたい。

(ひとこと)

A Iなど先進技術は素晴らしいものに見えますが、それを支える人材があつてこそ進歩していきます。先進技術を使いこなす人材育成を官民ともに進めていくべきです。

目指せ 地域と行政のパートナー



相見川の工事箇所

地元からの声を受けて、県で続きの工事をしていただきました。

工事後の現状と以前の状態です。川の中に、多くの土砂が溜まっていて、大雨が降ったら、水があふれるのでないかと心配されていました。

声を上げてくれた今浜町会の方々と、迅速に対応いただいた県土木事務所に感謝です。

前回の黎明だよりに掲載しました、宝達志水町の今浜で、途中になっていた相見川の土砂除去の工事の続きを早めに行つてほしいという要望ですが、今浜町会をはじめ関係者の熱意もあつて、県に対処いただきました。



水源の森の集い

宝達山水源の森づくり協会主催の、『森林の多面的機能を見直すセミナー』に聴衆として参加してきました。森づくりのことだけでなく、宝達山の歴史についても勉強でき、とても参考になりました。



成人式

今年度の羽咋市・宝達志水町の成人式に出席し、祝辞で新成人の門出に際して、自分の個性を大切に、人生を切り拓いてほしいとエールを送ってきました。

☆この他にも、各種議員研修への参加や、体育協会の表彰式、要望活動、消防出初式などに出席しています。

地域のイベントや街中で本吉に会った時には、気軽にお声かけしてください。そういったご縁を大切にしていきたいと考えています。

議会以外でも本吉は、活動しています。このような活動については、しっかりと実のある活動しているのか、住民としては関心のあることであろうかと思えます。これらの活動で見聞きしたことや勉強したことについては、ご要望があれば報告会などを行い、お伝えしたいと思えます。

そままでかしこまったものでなくても、本吉事務所『みやげ話』はいつでもおさせていただきます。お気軽にお立ち寄りください。

本人不在の場合もございいますので、本吉に直接お話された場合は、事前に事務所まで連絡していただくとうれしいです。

より良い地域を作るために皆さんの御意見をお願いいたします。

今年が皆さんにとって、良い年になりますように祈念いたします。



本吉きよと HP では、今回の内容もさらに詳しく、本人の思いもさらに熱く載っています！

アドレスはこちら → k-motoyoshi.jp

質問への要望や、県政に対する疑問がありましたら、本吉きよと事務所までご連絡ください。

それらを調査し応えていくことを議員活動の基本としています。

本吉きよと事務所

〒925-0035

羽咋市本町コ 129-1

坂本ビル

TEL : 0767-22-0557

FAX : 0767-22-0655